

コースお申し込み時の注意点

本コースにお申し込みの際は、プラクティションにご紹介いただくか、事前の面接が必要です。

コースの進め方

レッスンは基本的に英語で行われますが、日本語の通訳が行われます。プログラムへの登録が遅れた場合でも、集中的な補講により遅れを取り戻すことができます。

クラスは、ATM やFI のレッスンを中心として講義、ディスカッションなどによって構成されます。すべてのレッスンは、実習、体験を含み、それぞれの受講者が試行し、探求することを大事におこなわれます。

レッスン中は基本的にノートを取りませんが、日本Iの講義録を各学年修了時に購入できるので、参考にすることができます。

コースの受講時間

フェルデンクライス・ティーチャーズ養成コース日本VIは、2016年8月12日からスタートし、2020年5月6日までの4年間行われます。ティーチャーズ養成コースは、各年度200時間、4年間合計800時間が最低必須学習時間としてフェルデンクライス国際連盟によって定められていますが、このコースでは必須時間以上の学習時間を確保できます。

訓練の各年度において5日以上欠席、養成コース4年間で10日以上欠席がある場合は、スタッフとの協議に基づいて補講をうけます。受講生は、最長7年間で養成課程を修了する必要があります。

Years	Segment	Dates		Day Off
1	Segment 1	2016/8/12~8/28	15th	8/17,23
	Segment2	2016/12/25~2017/1/11	15th	1/1,2,8
	Segment3	2017/4/27~5/7	10th	5/2
2	Segment4	2017/8/11~8/27	15th	8/16,22
	Segment5	2017/12/25~2018/1/11	15th	1/1,2,8
	Segment6	2018/4/27~5/7	10th	5/2
3	Segment7	2018/8/10~8/26	15th	8/15,21
	Segment8	2018/12/25~2019/1/11	15th	1/1,2,8
	Segment9	2019/4/26~5/6	10th	5/1
4	Segment10	2019/8/9~8/25	15th	8/14,20
	Segment11	2019/12/25~2020/1/11	15th	1/1,2,8
	Segment12	2020/4/26~5/6	10th	5/1

4年間の養成コース期間中に、受講生は機能的統合 (Functional Integration: FI) レッスンを12回受けることができます。これは規定の800時間に含まれません。

コースの参加費用

参加費用は¥648,000 / 1年分 一括払い(消費税込)

※分割払い可(2回¥669,600 3回¥680,400)

※初年度には登録料¥50,000をお支払いいただきますが、これは初年度の参加費用¥648,000に含むものとします。

※2年度以降の参加費用も上記金額となります。ただし、消費税率が変更された場合は多少費用の変更があります事をご承諾いただけますようお願い致します。

※振り込まれた登録料は返却できませんのでご了承ください。

※分割回数については、基本として一括払いあるいは2回または3回払いとしておりますが、個別の事情などによっては御相談に応じます。

コース修了時に与えられる資格

コースの80日を修了した時点で、受講生は「動きを通じた気づき (Awareness Through Movement: ATM)」レッスンを教える教師資格が与えられます。これは養成コース修了時までの仮免許証で、養成コースを卒業しない場合、ATM指導許可は失われます。

養成コース卒業後は、オーストラリアのフェルデンクライス・メソッド教育者資格認定機関【Aus TAB】によって、フェルデンクライス指導者 (プラクティショナー) の資格が国際ライセンスとして認定されます。それによって、ATM レッスンと、FI レッスンを教えることができます。

受講生に求められること

コース受講中に、受講生は以下の点で評価されます。

- ①フェルデンクライス・メソッドを学習したいという意思を持っているか。
- ②ATM、FI レッスンを教える立場として「気づき/意識」を成長させることができそうか。
- ③コース期間中に自分自身に起こる変化や、慣れない状況等困難な場面の中でも、自分を良い状態に保つ能力があるか。
- ④このメソッドの専門家としての姿勢の習得ができそうか。

もし、これらの評価に基づいて、教育ディレクターが卒業するのに時期が早いと判断した場合、受講生にはアシスタント・トレーナーの指導による補講を受けてもらう場合があります。

会場:かわさき保育会館

財団法人 川崎市保育会

〒210-0844 神奈川県川崎市川崎区渡田新町3丁目2-8

TEL.044-333-2111

最寄駅: 京浜急行線・八丁畷駅徒歩8分 JR 川崎駅徒歩20分

Teachers 講師紹介



湊 真里 (アシスタントトレーナー)

フェルデンクライス アカデミー ワイズグループ代表 / 花の集い・健康コンシェルジュの会会長 / 日本フェルデンクライス協会事務局長 / 健康運動指導士

2000年フェルデンクライス メソッド国際ライセンス取得・大学卒業より、有酸素運動のよりよい質の動きについて研究。身体調整体操を創始。現在、フェルデンクライスメソッドの国際ライセンス取得指導者養成及び身体調整体操指導者養成に力を入れている。また、健やかな子供の発育発達のためのレッスンに取り組んでいる。

湊 美勝 (オーガナイザー)

ヘルズワイズ研究所代表 / FPTP日本Vオーガナイザー、同クラスアシスタント / 日本フェルデンクライス協会理事 / 健康運動指導士

フェルデンクライスメソッド国際ライセンス取得。福岡大学体育学部卒業 福岡大学医学部研究生運動療法の研究、福岡教育大学大学院教育学研究科修了。専門は運動生理学を中心とした健康教育で、関東をベースに活動。主に、健康教育、介護予防、脳血管疾患予後の機能改善、子供の機能向上レッスンに取り組んでいる。

ポール・ニュートン (フランス)

アメリカ、ニューヨーク州出身。ダンスと心理学を学んだ後、1987年にサンラファエルのトレーニングを卒業してプラクティショナーとなり、1993年にアシスタントトレーナー、2001年にトレーナーとなる。ヨーロッパ在住25年。フェルデンクライスメソッドへの深い理解と経験による明晰な指導スタイルを持ち、親しみやすい人気のトレーナー。ドイツ、オーストリア、フランス、スペインのフェルデンクライス・プロフェッショナル・トレーニング・プログラムにて教育ディレクターを務める。

ステファン・ローゼンホルツ (ドイツ)

1981年スタンフォード大学にて教育学博士を取得。モーシェ・フェルデンクライス博士のアムハースト(米国)のトレーニングを卒業後、世界各国のプロフェッショナルトレーニングプログラムで教えている。現在はドイツ・スイスで教育ディレクターを務め、メキシコ・コリマのトレーニングも受け持っている。

ピアトリス・ヴォルターシュピール (ドイツ)

呼吸法谷ボディーワークを学び、1993年トレーナーとなる。以降、北欧・南米で教育ディレクターを務める。現在はドイツとスペインで同プログラムの教育ディレクターとして活躍中。繊細かつ明確な指導で、生徒の気づき・知覚、そして独自の施行を引き出すとして定評がある。



エラット・アルマゴール博士 (イスラエル)

本コースの最高責任者。エルサレム大学講師 神経生理学博士。世界神経生理学学会で功績をあげる。エルサレム・フェルデンクライスセンターを設立し、指導・実践している。イスラエル、イタリアでコースの最高責任者を務めるとともに、日本で初のティーチャーズ養成コースを指揮し、以来日本VIに至るまでの20年に亘り、指導者育成に尽力頂いている。他、世界中のコースで指導にあたっている。現在では、フェルデンクライス博士の理念、哲学性を受け継ぎ、世界で最高峰のトレーナーの一人。

イラン・ジャコブソン (イスラエル)

柔道を通してフェルデンクライスメソッドに出会い1991年トレーニングコースを卒業。フェルデンクライス・インスティテューションに勤務し「アレクサンダー・ヤナイクラス」を出版。フェルデンクライスメソッドセンターを運営し20年以上にわたりプラクティショナー向けのワークショップを主催、一般向けにATMやFIレッスンを行っている。イスラエル、ドイツ、ノルウェーのトレーニングではアシスタントトレーナーを務め、2012年トレーナーとなる。2011年ハバ・シェルハブ博士の「チャイルドスペース」第1期トレーニングを卒業。

マリルペ・カンペロ (メキシコ)

理学療法士・作業療法士学位を持ち、1985年以来障害児教育に携わり、現在はコリマ大学医学部教員を務めている。1987年フェルデンクライスプラクティショナー取得後、メキシコフェルデンクライス協会を共同創設。メキシコ、チリ、コロンビア、アルゼンチン。スペイン、ドイツ、イタリア、フランスでメソッドを教えている。1998年よりメキシコのコリマ大学でプロフェッショナルトレーニングのプログラムコーディネーターとして活躍中。

アナット・クリヴィンヌ (イスラエル)

舞踊学修士。世界中の数多くのティーチャーズ養成コースで教えている。主に、エラット・アルマゴール博士とともに指導にあたり、特に日本のフェルデンクライスメソッド ティーチャーズ トレーニング コースでは、1996年開始の日本Iから現在の日本VIに至るまでの20年にわたり、指導者育成に尽力いただいている。